

問い合わせ先  
海上保安庁  
海洋情報部企画課  
主任調査企画官 江上 亮  
電話03-3541-3686 (内518)



平成23年7月 8日  
海上保安庁

## この夏、海を測ってみませんか！ ～海洋情報業務体験講座の開催について～

海上保安庁海洋情報部は、地形や地質の調査、海水の動きや海洋汚染の調査など、航海の安全や防災のために必要な海洋の科学的調査を行い、これら情報を広く提供する業務を行っております。

このたび、高等学校等の教員及び海洋情報業務に興味のある大学生等を対象として海洋情報業務体験講座を実施します。

海の中でどのような変化が起きているのか、その変化をどのように調査するのか、そして、調査結果の成果物として海図がどのように作られるのかを紹介いたします。また、測量船「昭洋」に乗船し、実際に海上で行われる測量作業の見学などを通じ、海洋情報業務に対する関心を深めていただくことを目的としています。

### 1 日時

平成23年8月3日(水) 1030～1700 (1日目：講座)

8月4日(木) 0930～1700 (2日目：体験乗船)

### 2 体験講座の内容

1日目 主な講座(午前10時30分受付開始、午後5時終了予定)

東日本大震災等を題材として、地震が発生するメカニズムや地震に伴う海底の動き、海の測量や海図である海図の作製について、海を測ってから、測った成果物の一つとして海図ができるまでの流れに沿って講義を行い、海図の作製現場や海洋調査に使用した調査機器等も見学する予定です。

2日目 体験乗船(午前9時30分集合、午後5時頃終了予定)

東京出港後、測量船「昭洋」の船内見学、海の測量の見学等を行う予定です。

定しています。

#### 測量船「昭洋」

総トン数 3,000トン

長さ 98メートル

主要観測機器

マルチビーム測深機

CTD（水温塩分計）

ADCP（超音波流速計）

測量船「昭洋」は、海上保安庁海洋情報部に所属する海洋調査を専門とする大型測量船5隻のうちの1隻で、主に外洋において海域火山調査や海洋汚染調査を行っています。近年は、大陸棚の限界画定のため、マルチビーム測深機による海底地形調査等を行うほか、東日本大震災では、緊急輸送航路の確保のため、他の測量船とともに東北地方の主要港湾の航路障害物調査等に従事し、復旧活動の一翼を担いました。



### 3 募集要項

#### (1) 対象者

地理等を担当する高等学校及び高等専門学校の教員並びに海洋情報業務に興味のある大学生等

#### (2) 定員

30名

#### (3) 応募方法

郵便番号、住所、氏名・年齢、所属、担当・専攻科目、連絡先・メールアドレスを明記の上、ハガキ、FAXまたはメールでご応募ください。

#### (4) 申込先

〒104-0045

東京都中央区築地5-3-1 海上保安庁海洋情報部

担当者 海洋情報部企画課 体験講座担当

電話 03-3541-3686（直通）

FAX 03-3541-4535

E-mail taiken-koza@kaiho.mlit.go.jp

#### (5) 締め切り

7月27日（水）必着。（先着順）

なお、定員となり次第、締め切りとさせていただきます。

#### (6) その他

本体験講座は全2日間のプログラムとなっております。

定員に達した以降に申し込みされた場合、1日目（講座）のみの参加が可能です。

なお、2日目（体験乗船）のみの参加は受け付けておりません。  
参加者には、別途日程表などをご連絡いたします。  
気象状況や業務都合等により、体験講座の内容の変更や中止となる場合がありますので、予めご了承ください。

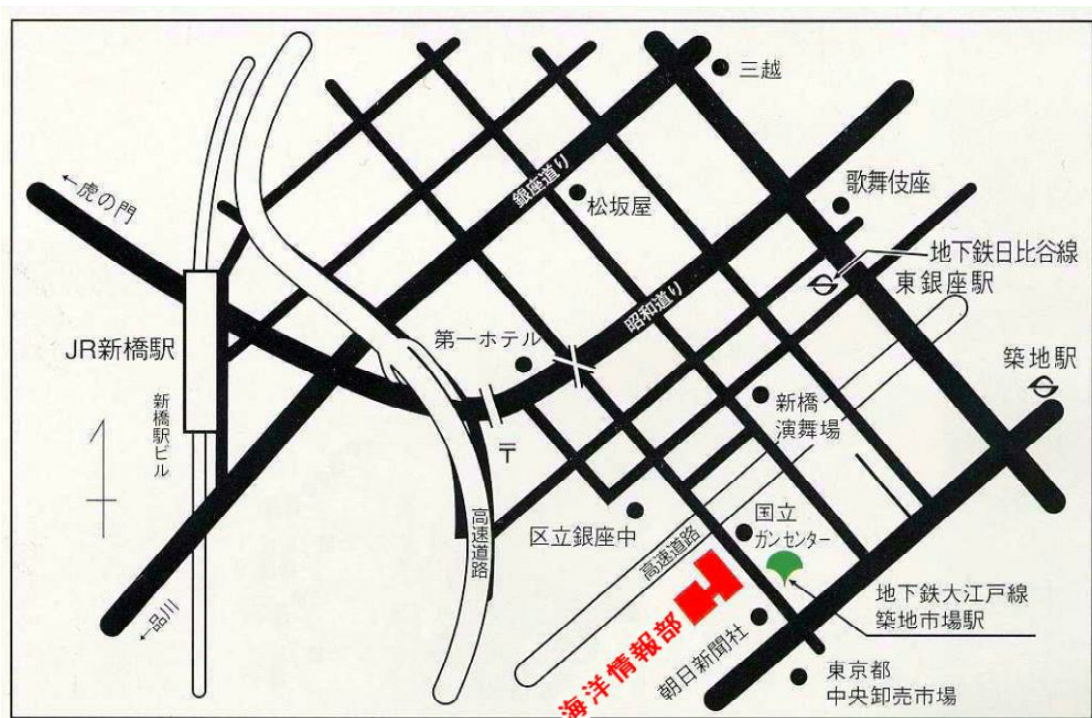
#### 4 開催場所

##### 1日目 講座

海上保安庁海洋情報部7階会議室（東京都中央区築地5-3-1）

- ・都営大江戸線「築地市場」駅 徒歩2分
- ・東京メトロ日比谷線「東銀座」駅 徒歩5分

海上保安庁海洋情報部庁舎位置図（1日目）



##### 2日目 体験乗船

測量船「昭洋」船上（東京都港区台場1-4）

- ・ゆりかもめ「台場」駅 徒歩5分

## 乗船岸壁位置図(2日目)



### 5 取材について

取材をご希望される方は、事前に問い合わせ先までご連絡下さい。

取材可能時間

1日目 講座 終日

2日目 「昭洋」体験乗船 終日

## 昨年の実施状況



講義の様子



施設見学



測量船上における作業見学